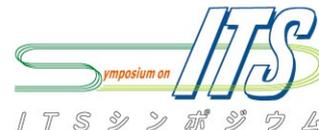


第 22 回 ITS シンポジウム 2024

2024 年 12 月 12 日(木)~13 日(金)



熊本城ホール <https://www.kumamoto-jo-hall.jp/>

Call for Papers

テーマ：暮らしを豊かにする移動サービスと人づくり

「2024 年問題」というキーワードとともに、トラック・バス・タクシーなどのドライバー不足の深刻さが広く認識されるようになった。慢性的な人手不足や担い手不足は、運送事業に限らず幅広い業界の問題であり、人口減少が進むこれからの社会をどのように維持していくか、その対応策が求められている。長期的には自動運転等の ITS 技術の貢献が期待されるが、地域が直面している課題に対しては即効性と実効性のある対策も必要である。

労働力不足の中で、限られた人材を社会変化に適応させ育てることも重要である。豊富なデータと最新の技術を活用しながら、地域の課題に即した施策展開を行える人材が産官学それぞれの立場で求められている。

熊本は世界的半導体企業 TSMC の工場開設により、100 年に一度の大チャンスにあるとされている。一方、半導体やデータサイエンスに強い人材の育成や交通渋滞対策も急務となった。渋滞解消のためには、ドライバー不足に悩む地域の公共交通を活用しつつ、実効性のある交通施策を短期と中長期の両面から総合的に展開できる人材が求められている。

本シンポジウムでは、豊かな暮らしと移動を支える地域の人材育成に関する議論を、以上の内容を中心に幅広く展開したい。

投稿時に「査読あり」「査読なし」のいずれかをお選びください。査読ありを希望され、採択された論文は International Journal of Intelligent Transportation Systems Research (IJIT)*1 に掲載されます。

●査読あり

- 提出期限：5月31日(金)
- 提出物： A4 サイズ 10 ページ以内のフルペーパー。使用言語は英語のみとします。
指定のフォーマットに従って作成してください。
フォーマットは https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/22nd2024/cfp/ に掲載します。
- 提出先： IJIT 投稿サイト: <http://www.editorialmanager.com/ijit/> Article Type は ITS Symposium を選択してください。
- 論文： ジャーナルの採否結果は 10 月末にご連絡する予定です。採択論文はジャーナル通常号に掲載します。シンポジウム開催までに採用に至らなかった場合も引き続き査読を受けることができ、採択に至った時点でジャーナルに掲載されます。
- 発表： 上記の採否に関わらずシンポジウムでの発表を必須とします。 対話セッション(ポスターセッション)でご発表ください。シンポジウムではジャーナル投稿論文のプレプリントを掲載させていただきます。

●査読なし

- 提出期限：8月20日(火)
- 提出方法：250 字程度のアブストラクト。使用言語は日本語または英語。
- 提出先： https://www.its-jp.org/katsudou/its_symposium/22nd2024/cfp/ でご登録ください。
- 結果通知：9月下旬
- 最終原稿：11月5日(火)までにウェブサイト掲載用の A4 サイズ 6 ページ以内のフルペーパーをご提出いただけます。
- 発表： 採用された論文は対話セッション(ポスターセッション)でご発表いただけます*2。

人を対象とする研究においては研究対象者の尊厳および人権を尊重するとともに、被験者の生命・健康・安全の確保に配慮しなければなりません。研究対象者に係るデータや情報は適切に扱い、プライバシーを保護するとともに、被験者からインフォームド・コンセントを得なければなりません。また、研究を計画、実施するにあたっては所属機関等の倫理委員会の承認を得ることが必要です。

*1 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research: <https://www.springer.com/journal/13177>

*2 基本言語は日本語ですが、海外の方は英語可とします。

●査読あり

フルペーパー投稿締切	5月31日
1次判定結果通知	7月末
修正論文提出	8月末
ジャーナル採否通知	10月末
ジャーナル論文掲載	採用後順次
プレプリント公開	11月27日

●査読なし

アブストラクト投稿締切	8月20日
採否通知	9月下旬
掲載用最終稿提出	11月5日
発表資料提出	11月中旬
論文公開	11月27日

■参加登録料

タイプ	11月30日まで		12月1日より	
	会員	非会員	会員	非会員
聴講	一般	15,000円	20,000円	18,000円
	学生	3,000円		
論文発表	一般	15,000円		
	学生	8,000円		

※ジャーナル掲載料は廃止いたしました。査読あり・なしの別なく、上記の登録料で論文をご発表いただけます。

■募集する論文の分野**A. Challenges and Opportunities of Big Open Data**

Open data management and application
Data sharing and exchange
Ubiquitous sensing
Technology for data collection
Availability and quality of data
Data visualisation
Data fusion
Predictive analytics
New business models for traveller information
Security in an open environment

B. Smart Cities and New Urban Mobility

Integrated transport system
Next generation traffic management
Transport modelling
Road user charging
Travel demand management
Integrated ticketing and payment
Incident management

C. Automated Vehicles and Cooperative ITS

V2X Communication technologies and Cooperative systems
Human factors and human machine interface
Field operational tests, pilots and demonstrations
Positioning, mapping and navigation
Security and integrity for connected and automated vehicles
Mobility as a service - a transport revolution?
Infrastructure and regulation needs for a mixed-capability fleet

D. Mobile Applications

Multi modal real time information
Multi modal journey planner
Demand responsive public transport
Taxi and parking reservation
Real time traffic advisory

E. Vehicle and Network Safety

Speed advice and restriction
Technology and system for safety and enforcement
Advanced driver assistance and support systems
Human factors
Emergency pre-emption and notification
Post-crash response
Improving safety of vulnerable road users
e-call
Roadwork safety and inclement weather management
Preventative and active safety systems

F. Future Freight including Aviation and Maritime

Freight and fleet management
Logistics
Railway network operation
Unmanned aerial vehicles (UAS / RPAS / Drones)

G. Environmental Sustainability

Environmental impact reduction
Electro mobility and charging
Eco driving
Reducing noise
Car sharing, bicycle sharing and ride sharing
Encouraging active transport and mode shift

■第22回 ITS シンポジウム 2024

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan

共催予定： 熊本大学

協賛(予定)： 計測自動制御学会, 交通工学研究会, 自動車技術会, 情報処理学会, 人工知能学会, 電気学会, 電子情報通信学会, 土木学会, 日本機械学会, 日本交通心理学会, 日本ロボット学会, 自動車技術会モビリティ社会部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会

実行委員長 溝上章志 熊本学園大学 経済学部 教授

プログラム委員長： 円山 琢也 熊本大学 大学院先端科学研究部 教授

プログラム委員会： 尼崎太樹 (熊本大学), 安藤宏恵 (熊本大学), 伊藤昌毅 (東京大学), 稲永健太郎 (九州産業大学), 大井尚司 (大分大学), 小野晋太郎 (福岡大学), 金丸晃大 (株式会社 ケー・シー・エス), 川崎謙次 (株式会社千代田コンサルタント), 上瀧剛 (熊本大学), 嶋本寛 (宮崎大学), 竹隈史明 (復建調査設計株式会社), 田部井優也 (福岡大学), 津田圭介 (日本工営株式会社), 中西恒夫 (福岡大学), 廣田正樹 (九州大学), 深堀達也 (復建調査設計株式会社), 峯恒憲 (九州大学), 山下賢一郎 (株式会社福山コンサルタント), 楊波 (九州工業大学), 吉城秀治 (熊本大学)

問合せ先： ITS Japan 井出 h-ide@its-jp.org